

【開講日】平成30年10月31日(水)

あき 三鷹サテライト教室

文学

三鷹

302026

# 『奥の細道』の主な章段を 読んでみよう(その一)

受講料 (振込額)	7,500円				
必携テキスト	――				
講座概要	曜日	水曜日		日 程	
	時間	10:00～11:30			
	回数	全5回	定員		50名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講 師	本学学非常勤講師 永田 英理 (ながた えり)				
	早稲田大学大学院博士後期課程修了。博士(学術)。武蔵野大学・白百合女子大学・早稲田大学非常勤講師。専攻は近世俳文学で、松尾芭蕉の俳諧や俳論を研究。著書『蕉風俳論の付合文芸史的研究』(ペリカン社、2007年)、共著『連歌辞典』(東京堂出版、2010年)、『おくのほそ道』解釈事典―諸説一覧』(東京堂出版、2003年)。早稲田大学・白百合女子大学非常勤講師				
内 容	『奥の細道』は、日本古典のなかでもとりわけ有名な芭蕉の紀行文です。元禄2年(1689)に深川を出発し、日光・奥州・出羽・北陸路を行き、岐阜の大垣で終わりを迎えた芭蕉の5ヶ月の旅は、数年に渡って何度も何度も推敲が重ねられ、『奥の細道』という作品になりました。歌枕(昔の和歌で詠まれた名所)や旧跡を巡り、西行や義経ら歴史上の人物たちと魂を通わせながら辿る芭蕉の旅は、時空を超えた旅の文学といえるでしょう。				
	本講座では、『奥の細道』の全行程のなかから主な章段を取り上げて、最新の研究成果をふまえながら読み通してゆきます。「夏草や兵(つはもの)どもが夢のあと」、「五月雨を集めて早し最上川」といった、この旅中に生まれたさまざまな名句を味わいながら、芭蕉の旅路と一緒に辿ってみませんか。今期、新たな旅立ちです。 参考図書：『新版おくのほそ道』(角川ソフィア文庫) 穎原退蔵・尾形 侑				
	①10月31日：芭蕉と旅について、『奥の細道』テキストの問題について ②11月14日：『奥の細道』の「発端」 ③1月30日：江戸を発つ(「旅立ち」・「草加」) ④3月6日：日光参詣(「日光」) ⑤3月13日：芭蕉と曾良(「日光」)				

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

お問い合わせ TEL 042-468-3222  
FAX 042-468-3211

開室日：月～金曜日 9:30～18:00  
：土曜日 9:30～15:30 (祝日を除く)

武蔵野大学 社会連携センター

〒202-8585 西東京市新町1-1-20  
www.musashino-u.ac.jp

# 武蔵野大学 三鷹サテライト教室 平成28年3月より南口に移転



JR三鷹駅 南口より徒歩1分

**三鷹三菱ビル 6・7 F**  
(三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・ 教室は講座の15分前よりお入りいただけます。  
(前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります)
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。